

選択肢別回答数

東京都Ⅰ類

教養択一試験

会場＋自宅

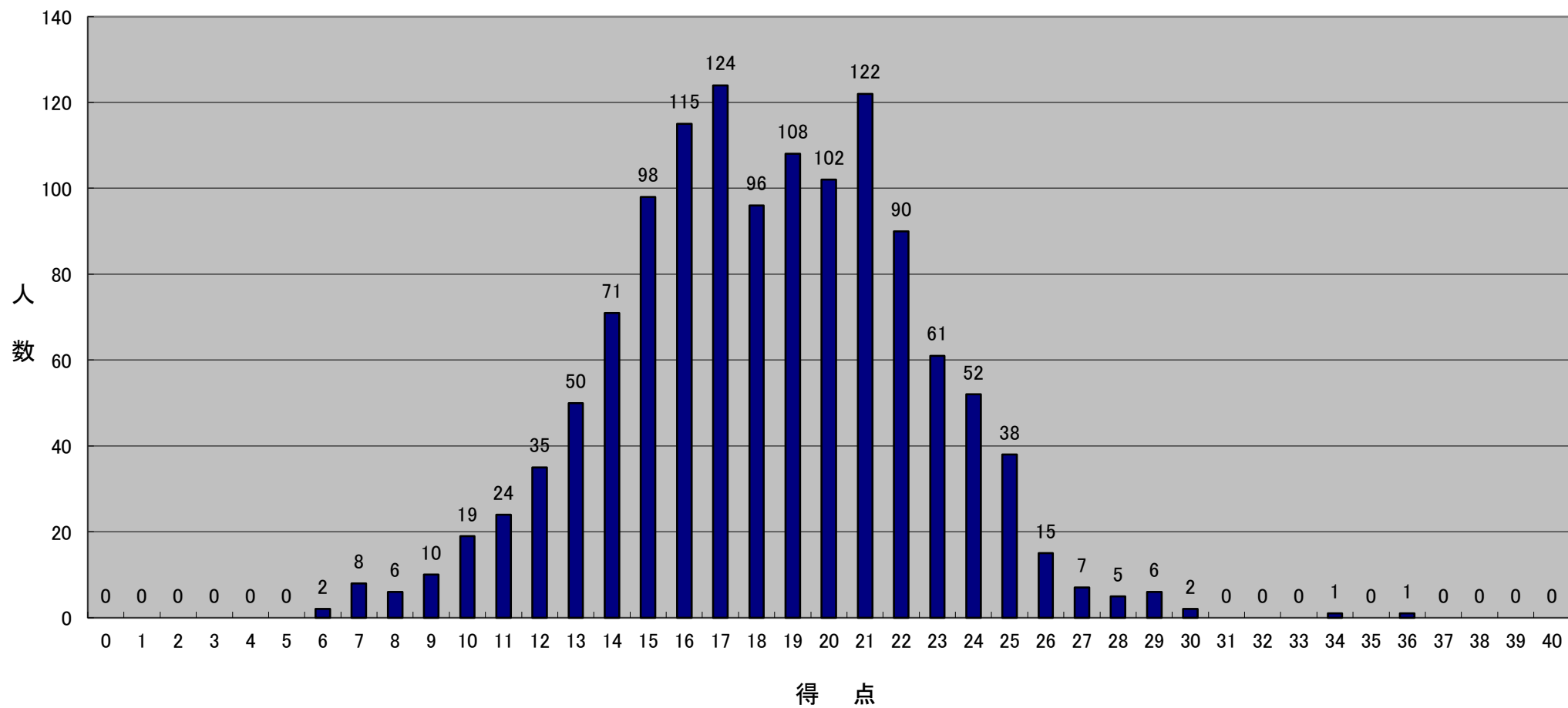
総受験者数

1268

2012年03月11日 実施

[illegible][illegible]

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0100162835	340026	36	津田沼
2	9101004409	090180	34	新宿
3	0100144035	330040	30	津田沼
3	0104522704	280088	30	横浜
5	0101274409	170041	29	渋谷
5	0101600218	300015	29	大宮
5	9100070733	210117	29	中大駅前
5	9100934505	170114	29	渋谷
5	9100940905	160134	29	渋谷
5	9102357899	910168	29	自宅
11	0100102437	090067	28	新宿
11	0100344728	180131	28	渋谷
11	0101510318	320075	28	大宮
11	0104085907	230104	28	町田
11	9100862307	130099	28	池袋
16	0102714624	080005	27	新宿
16	0102907605	050055	27	水道橋
16	0103149102	470015	27	梅田
16	0103315498	190007	27	立川
16	0194625095	280105	27	横浜
16	9100934905	070054	27	水道橋
16	9101137802	490058	27	なんば

TAC公務員講座 第1回公開模試（東京都 I 類B） 講評

I. 教養択一試験

- 1. 文章理解** 東京都 I 類Bは毎年平易な文章問題が出題される。現代文は文章が平易な分、接続詞などを読み解きながら落ち着いて素直に考えるとよい。英文は時事英文が特に得点しやすい。英語が苦手な人でも選択肢を読むことでどのような文章か当たりを付け、少しでも読んでみようとするのが大切だ。8割～満点を取ることが可能な出題である。
- 2. 数的処理** 時間配分を意識してもらうために、時間のかかる問題を多く出題した。【No.10】(命題)は、平易な問題であり、これを落とすと苦しい。【No.11】(数量推理)は、13 点になる組合せを書き出すと簡単に解ける。【No.13】(確率分の確率)は、近年、試験種を問わず出題の多い分野なので、注意が必要である。【No.14】(速さ)は、ダイヤグラムを使うと状況がわかりやすいだろう。【No.17】～【No.20】(いずれも資料解釈)は、いずれも基本問題といえる。ここで 2 問以下だとかなり苦しいだろう。空間把握では、【No.22】(積み木)が少し変わった問題であったものの、その他の 3 問はいずれも基本的な問題ばかりである。時間のかかる【No.24】(軌跡の長さ)に多少注意が必要になるが、全体的に平易といえる。以上を考慮すると、16 問中 11 問以上正解していれば、現時点では順調といえるだろう。
- 3. 人文科学** いずれも頻出分野から出題されている。歴史は通史からの出題はあまりみられないため、直前期は頻出の時代である江戸時代・明治時代を中心に学習を進めるとよいだろう。地理は気候と植生のほか、近年地誌の出題がみられるので、各自で学習を進めていただきたい。
- 4. 社会科学・時事** 法学・経済・社会ともに基本的な内容を問うている。都庁はいわゆる頻出分野から出題されるため、対策も進めやすいだろう。しかしながら、時事はかなり細かいことまで問われるため、本試験でも半分とればよいだろう。
- 5. 自然科学** 基本レベルから標準レベルまでを出題した。【No.33】のような、無機物質についての正誤問題は、他の試験種でもよく出題されているので、確実に正答を得たい。また、【No.34】のように、長日植物、短日植物は特徴だけでなく、代表的な植物名も知っておいてもらいたい。4 問中 3 問以上は正答を得たい。

II. 専門記述試験

- 1. 法律系** 制限時間が 3 科目で 2 時間あるので、今年度も過去に出題されている基本テーマをベースにした問題が予想される。今回の問題はいずれも基本的問題であるが、問題文の指示に従って説明することが求められている。まず、答案の読みやすさのためにナンバリング、段落分け等の形式面に注意すること。実行できていない答案も見受けられた。以下個別科目について言及する。**憲法**については、昨年度が人権の分野から生存権に関する問題であったので、今年度は統治の分野からの出題が予想される。「唯一の立法機関」という基本的なテーマであるにもかかわらず、意外と出来はよくない。2 つの原則の内容についての言及はあるものの、それぞれの内容を正確に指摘に適切な例外をあげている答案は全般的に少なかったと思われる。次に、**行政法**については、昨年度の本試験は行政裁量に関する基本的問題であった。今回は、救済法の分野からの出題が予想されるので、河川管理の瑕疵についてきてみた。概ね 3 科目の中では出来がよかったと思われる。ただし、道路管理の瑕疵と比較を明確に示しながら記述するのは難しかったと思われる。いずれにしろ、高知落石事件、大東水害訴訟及び多摩川水害訴訟の判例をベースに正確に整理することが求められている。最後に、**民法**は昨年度が債権総論の分野からも出題されたため、債権法の出題も視野に入れる必要がある。そこで、今回は売買契約における瑕疵担保責任の問題をきてみた、3 科目の中では途中答案も多く不十分な答案が目立った。論述のベースとなる法定責任説の内容を正確に書けることがポイントとなる。債務不履行、危険負担と混同している答案も見受けられた。参考答案を十分に復習すること。
- 2. 経済系** **経済学**は独占市場における利潤最大化行動と、売上高最大化行動の比較に関する出題をおこなった。テーマ自体は基本論点であり、経済学を十分に学習していれば対応できたであろう。**財政学**はマズグレイブの財政の 3 機能の経済安定化機能に関する出題であったが、こちらも基本論点であり、基本事項を整理できていれば十分に合格答案を書くことが出来たであろう。十分に得点できなかった受験生は、解答例を参照のうえ、論点を整理し本試験に臨まれたい。
- 3. 政治系** **政治学**は、平成 22 年度の試験でホプズが出題されていることから、ロールズが扱われる可能性も十分にある。出題可能性が高いわけではないが、準備しておけば他の受験生に差をつけられるだろう。なお、用語を示す際には、言葉を書くだけでなく説明も加えよう。**行政学**について、ギュリックの行政管理論は、東京都 I 類および過去の特別区 I 類の専門記述試験では出題されていないが、過去の東京都 I 類・特別区 I 類の択一試験では頻繁に出題されており、記述で出題される可能性は十分にある。復習しておこう。なお、今回はライン&スタッフに関する記述に終始している例やギルバートの行政統制論と勘違いしている解答者も見られたが、出題テーマに正面から答える内容でなければ点数にはつながらない。**社会学**について、今回のテーマの類題は、社会学に限定すれば平成 7 年度の「現代社会におけるテクノクラートについて説明せよ」くらいだが、他の試験種の専門記述では出題されている。また、平成 15 年度の特別区 I 類の経済政策で「ロストウの経済発展段階説について説明せよ」が出題されたこともある。出題可能性が高いわけではないが、準備しておけば他の受験生に差をつけられるだろう。解答では、ロストウとベルの共通点も触れておきたい。
- 4. 会計系** **経営学**は、企業集中形態についての問題を出題した。カルテル、トラスト、コンツェルン、コングロマリットについてはその定義だけでなく、いつの時代にどの国で流行したかや具体例を挙げられるとよい。また、「我が国の持株会社制度」については、「株式相互持合」と誤解した解答が多かった。問題文はきちんと読んでもらいたい。**会計学**は、繰延資産についての問題を出題した。繰延資産の 3 要件は基本的事項であり最低限書いてもらいたい。また、前払費用と臨時巨額の損失については、まずきちんと定義を書いたうえで、繰延資産との共通点、相違点を述べるのが望ましいが、定義を書いていない答案や相違点だけ書いてある答案が多かった。ただし、臨時巨額の損失については難易度の高い問題であるため、できなくてもあまり気にする必要はない。

III. 論文試験

東京都 I 類Bの教養論文は都政に関わる社会事情が出題されるため、東京都の政策、動きを知っておく必要がある。自身の提案が論じられるかどうかで評価が大きく変わってくるので、日頃から漫然と報道等を眺めるのではなく、何故問題が生じるのか、今後どのような対策が求められるのかについて論じるとよい。ここ数年、社会一般の問題と関わるテーマが出題されている。東京都受験者は広域行政である都が行うべきことについて考えておこう。

以上

平成24年 3月10日(土)～12日(月)実施

◆ TAC公務員講座 第1回公開模試 結果データ ◆

【都庁Ⅰ類B】

	平均点	受験者数	科目	問題番号	科目平均点
教養択一	18.2点	1,268名	文章理解	1～8	4.9点
			数的処理	9～24	7.0点
			人文科学	25～27	1.1点
			社会科学	28～31	1.8点
			自然科学	32～35	1.0点
			時事	36～40	2.5点
専門記述	※平均点は 算出しておりません。	1,097名	—	—	—
小論文	※平均点は 算出しておりません。	1,078名	—	—	—
総合成績	18.24点	1,268名	—	—	—

※ 本表の総合成績の平均点は、教養択一の得点で平均を算出しております。